

第3回北上市政策評価委員会会議録（要旨）

【出資法人等協働評価専門部会】

日 時	平成23年 9 月15日（木）午後 2 時30分～ 6 時25分
場 所	北上市市民交流プラザ
出席者	(1)委員 5名 山田晴義部会長、青木一郎委員、小野寺純治委員、宗和暢之委員、谷藤邦基委員 (2)副市長及び事務局 (3)担当部課職員 (4)出資法人等役員
傍聴者	なし（※出資法人等ヒアリングを円滑に進めるため、北上市情報公開条例第26条第3号により非公開とした。）

1 議題

- (1) 出資法人等ヒアリング
- (2) 担当部ヒアリング

	対象案件
1	情報格差の解消・情報通信技術の活用 和賀有線テレビ（株）、北上ケーブルテレビ（株）
2	黒沢尻西部土地区画整理事業について 黒沢尻西部土地区画整理組合
3	夏油高原スキー場の運営について 夏油高原開発（株）
4	市街地再開発事業 北上都心開発（株）
5	市街地再開発事業 北上開発ビル管理（株）

2 会議の概要及び主な意見等

各案件について、法人側から経営方針及び経営状況のヒアリングを行い、その後担当部から再ヒアリングを行った。なお、黒沢尻西部土地区画整理組合については法人ヒアリングを省略した。

(1) 情報格差の解消・情報通信技術の活用：和賀有線テレビ（株）及び北上ケーブルテレビ（株）

【主な意見等】

・市政情報の周知、地域情報発信が公益性だとして、ふたつの会社でフォローされないところや、2社の格差などを考えると、平等性が担保されるかどうか疑問に感じる。

・民間でやる部分と公共でやる部分があるのだろうが、今回はせつかくある民間会社をうまく活用してインフラ部分をやりましょうという考え方。民間の自主努力をそこまで期待してしまうと、やろうとしている主体がひっくり返ってしまう。顧客獲得は民間自身の活動に及ぶので、そこをうまく整理する、しっかりした議論が必要と思う。そうした場合に、2社の合併については、インフラの整備を考えた時にやはり避けて通れないのではないかな。

・合併をしたから今の問題が本当に解決できるか、というのも不明確。今後の損益見通しなどをお互いに出し合って、どういう合併の形態がいいのかということ議論しないと前に進まないのではないかな。

・和賀有線テレビに常勤の役員がいないというのは、会社としてどうか。経営陣に専門的な放送事業をわかる人がいないのではないかと疑問に思っている。スケールメリットよりも、そういったノウハウが合併によって和賀有線テレビに行くことが重要なのでは。

(2) 黒沢尻西部土地区画整理事業について：黒沢尻西部土地区画整理組合

【主な意見等】

・この時期に区画整理に取り組んだところは、みんな同じような状態になっていて、ここは仕方ないのではないかなと思う。

・市が使う土地ではなくて販売のためのものであれば、特別会計とは言わないまでも区分経理して損益がわかるようにすべき。事後的にちゃんと検証できるように、後の管理をきちんとやる必要がある。

・長期的には土地の管理や土地を売って行けるのかという観点が必要だと思う。

・今の意思決定が本当に税金の使い方としていいのかが論点のひとつ。それと、その土地を処分する目途があるのか、そのための最大限の努力をしているのかどうか。今後どうすべきなのか議論した上で意思決定をするということ。その2点は必要なことではないかな。

・組合の責任と負担について、我々委員に説明していることと同じ説明を市民にできるかどうかだと思う。

(3) 夏油高原スキー場の運営について：夏油高原開発（株）

【主な意見等】

・経営をどうしていくのかという論点については、どういう選択肢があるのかということも挙げてもらって、どれを選ぶかということも議論をしないと進まないのではないかな。まずはどういう選択肢があるのかという整理をすることが大事ではないかな。

・市として選択できるものと、相手次第のものとの関係で、市として選択すると

ころが非常に少ない。いろんな選択肢の中ですぐに意思決定するのは難しいと思うが、事前に今の段階で検討しておくのが必要。

- ・ほかのところは第三セクターの経営状況の中で、行政の方の考えかたを入れているが、ここは第三セクターではないのでそれが見えてない。もう少し整理したものをいただきたい。

- ・スキー場を存続させなければいけないというのであれば、存続する方法としてどういったものがあるのかということを考えなければならない。内部評価シートにどう書くかということよりも、内部でどういう選択肢があるかということをも十分議論すべき。

(4) 市街地再開発事業：北上都心開発（株）

【主な意見等】

- ・「第三セクター経営状況等」（※平成22年11月5日作成。）の点検評価の結果では北上開発ビル管理のほうがよい評価となっているが、長期的な視点では逆のイメージがある。

- ・北上都心開発の存続なくして商店街の活性はないと、市としては見ているということで、このまましばらく頑張ってもらえないと思う。

(5) 市街地再開発事業：北上開発ビル管理（株）

【主な意見等】

- ・バランスシートを眺めると土地の簿価が非常に大きく、預かり保証金や敷金が事実上自己資金として機能している。建物は20年持つという話をしていたが、そうすると15年とか20年での長期計画が必要な段階に来ているのではないか。

- ・会社の努力だけでは、もうどうにもならないところに来ている印象。

3 その他（評価全体の今後の進め方について）

【主な意見等】

- ・各法人の経営者や市の方からの情報収集のほかに、この会議の中での議論も必要ではないか。委員ひとりひとりの意見も大事だが、全員の総意も大事だと思う。

- ・次回までに提出する評価シートは、きっちりとフォーマットに合わせたものでなくてもいいのではないか。次回の議論のための材料を出す程度のもと考えてはどうか。

- ・評価シートを基本にはしながら、少し自由に意見を出し合って次回の議論の資料にするという扱いにしておいてはどうか。

- ・統一意見のほかに、委員個別の意見をどこかに載せるといったことも場合によっては出てくるかもしれない。